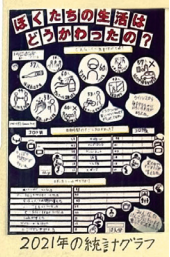


令和6年度 千葉県統計グラフコンクール 入賞作品集

続 ぼくたちの生活は どう変わったの？

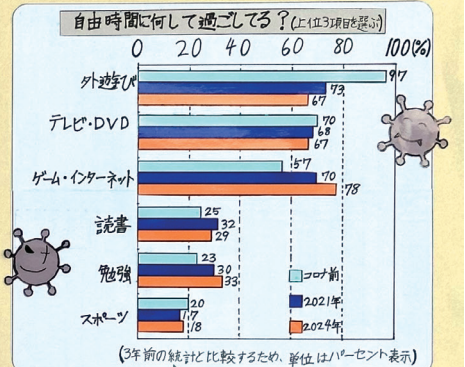
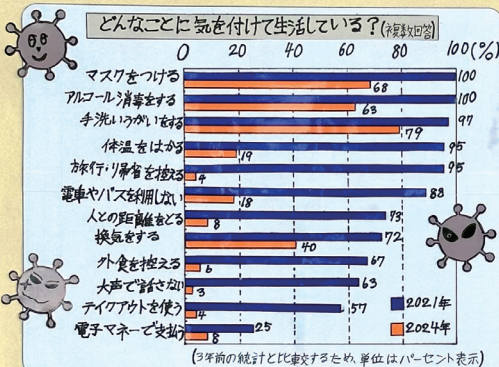
～感染症と共存していく生活とは？～

2021年、新型コロナウイルスが流行していた時に、ぼくたちの生活がどのように変化したかを調べて統計グラフを作りました。それから3年が経ち、2024年にぼくたちの生活にどのような変化があったかを改めて調べて、比較しました。



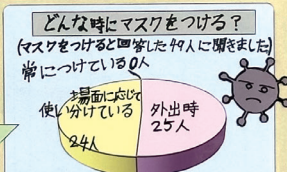
2021年の統計グラフ

西色はカラーユニバーサルデザイン(色の見え方が一般と異なる人にも情報がきちんと伝わる色使い)を参考にしています。



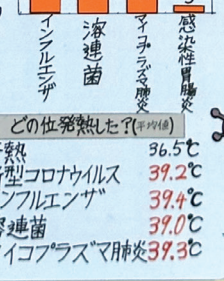
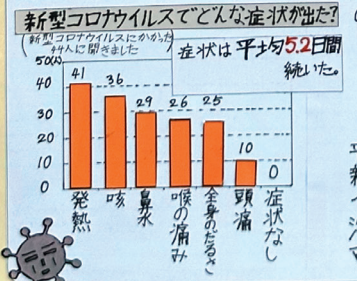
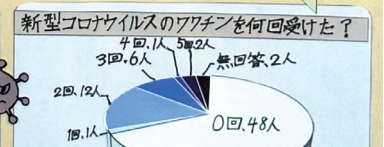
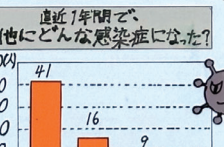
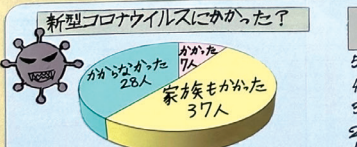
2024年は、感染症対策にあまり気を遣わない生活に戻っている。マスクとアルコール消毒については、2021年は100%であったが、2024年は約6割まで下がっていた。2024年に最も行われている感染症対策は、手洗いやうがいだった。

マスクを常につけている人は、0人だった。人と会う時や閉め切られた空間に行く時など、場面に応じてマスクをつける人が多い。



2021年は、コロナ前と比べて、外遊(旅行)が減って、ゲーム・インターネットが増えていた。2024年でも生活スタイルはコロナ前には戻っていないようだ。逆に、家の中で「遊ばせ」割合は、更に増えている。

新型コロナウイルスのワクチンを受けた児童は、約半だった。色々な考えの人がいたが、大切なのは自分で選んで考えることだと思う。



ワクチンを受けた主な理由

- ・感染した時に重症化しないため。
- ・周りに感染させないため。

ワクチンを受けなかった主な理由

- ・副作用が心配だった。
- ・安全性の割にメリットが少ないと感じた。

(ぼくたちの同い年には、新型コロナウイルス以外にも、色々な種類のウイルスが存在する。感染した場合は、いずれも39℃以上の発熱が出て、学校を長期休まなければならぬ。日頃から感染症対策を月全に行い、予防を行い、自分の身は自分で守ることが大切だと思った。)

豊田地区・萩原地区の児童72人アンケート(2024年7月5日～25日)

主 後

催 援

千葉県 千葉県統計協会
千葉県教育委員会 千葉県市長会 千葉県町村会
千葉県教育研究会情報処理(統計) 教育部会
千葉県私立中学高等学校協会 千葉県私立小学校協会



千葉県マスコットキャラクター チーバくん